平成２６年度

事 業 報 告 書

自　平成 26 年 4 月 1 日
至　平成 27 年 3 月 31 日

公益財団法人　平群町地域振興センター

目次

事業報告書

〈基本方針〉
Ⅰ　スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業１）
　１　事業報告
　１）健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）
　２）子ども体力向上事業（発育スキルアップ）
　３）健康体力づくり事業（健康保持増進）
　４）元気ＵＰ高齢者事業（健康保持増進）
２　町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業
Ⅱ 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業２）
　１　事業報告
Ⅲ 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業３）
　１　事業報告
　２　町有施設（活性化センター）指定管理及び道の駅施設受託管理事業
Ⅳ スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業１）
　・その他

〈基本方針〉

平群町地域振興センターは、平成 5 年設立当初より寄附行為(※定款)第 3 条(目的)並びに第 4 条(事業)の規定に基づき事業活動を行い、設立 21 年目を迎えた。平成 25 年 4 月に「公益財団法人」へ移行後、より一層地域に根ざした公益性、公共性を発揮していくという明確な活動理念及び目的のもと運営を行った。あわせて、平群町と連携し地域住民や各団体と相互補助の関係を築き「地域づくり」、「地域貢献」、「地域還元」に積極的に振興事業を展開。

町有施設の管理においては「指定管理者」として 3 期目(1 期：4 年)の 1 年目を迎え、町より受けている管理権限の委任や公共性を最大限に発揮し、地域が求める住民サービスの向上に一層の充実を図り、各施設の設置目的にあった管理運営を行った。

体育/公園体育施設・公園施設の管理運営業務は、「平群町」の地域社会における文化及び体育活動の意識向上と基盤整備した振興事業を行い、更なる平群町民の生活・健康・文化的水準の向上を目指し運営を実施した。また、既存の文化、体育施設を拠点としながらその機能を充分に生かした多角的且つ合理的な利用方法の構築・追及を行う。そして、円熟化社会を迎え、複雑化、高度化、多様化する利用者及び行政からのニーズを的確に捉え、それらを柔軟・迅速に対応するよう努めた。

活性化センター運営業務は、生産者と地域住民が地域農業についての共通理解を深め、農産物の消費拡大と地域農業の情報発信の拠点、また、全ての利用者に平等の利用を提供し、様々な人々が集まり“笑顔が溢れる地域振興の拠点”を目指して、施設の役割や利用状況に即した施設のあり方を考え、公の施設の効果的な管理運営を定めるため、これまでの管理運営実績を踏まえ、ノウハウを最大限に発揮した。

Ⅰ　スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業１）

１　事業報告

総合スポーツセンターが、地域住民のライフスタイルの中で様々な活動拠点となり、「健康サポート・地域コミュニティ支援事業」、「子ども体力向上事業」、「健康体力づくり事業」、「元気 UP 高齢者事業」の 4 部門を自主事業の基幹部門として、それぞれの参加者を的確にサポートするように進めた。これまでの実績をもとに地域の子どもから高齢者まで、幅広い世代に運動参加やその他の目的でスポーツセンターを有効利用してもらえるように、多岐にわたるプログラムや事業を計画して参加者の増加につなげて振興事業の拡充を図ることを目的とし開催した。また、平群町スポーツ振興の施策の一つである総合型スポーツクラブ「くまがしクラブ」の運営にも積極的に携わると同時に、振興センターの自主事業をくまがしクラブ教室事業へと順次移行し共同体制を強化した。

1）地域住民や利用者ニーズの把握及びそれに伴う事業展開と業務の実施

利用者ニーズを正確に把握するため、ひとつでも多く要望を受け取る体制を構築するとともに、収集した情報を分析・検討を行い、あらゆる角度から実現の可能性を模索し事業展開を行った。

2）スポーツ・健康づくり活動ができる仕組みの構築

総合スポーツセンターが、運動・スポーツ・健康づくりの拠点となり、スポーツを通じた交流の環境づくりに努め、地域でもスポーツ・健康づくり活動ができる仕組みを構築し、地域の公共団体・運動クラブと連携しながら、全ての地域住民や利用者を明るく元気にする共催事業展開を図った。

3）効率・効果的な事業運営の推進
これまでに蓄積した経験とノウハウを活用することにより、機動的かつ柔軟なサービスを提供し、公共施設の指定管理者として、地域性を活かした効率・効果的な事業運営を行った。
4）安全・安心・快適な施設空間の創出
交流の場として、利用者とのコミュニケーションを図り、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる施設環境整備を行った。
5）お客様本位の視点にたったサービスの提供
お子様から高齢者の方々まですべての利用者の皆様を平等に、感謝の気持ちを込めてお客様の立場にたった心のこもったサービスの提供を行った。
6）地球にやさしい施設管理
利用者自身の環境などへの社会的責任意識（エコ等）の高まりをサポートする取り組み（ペットボトルキャップ収集→ワクチン）の企画・実施。

〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕
町内の体育施設は、平群町総合スポーツセンター（体育館、グラウンド、テニスコート、ウォーターパーク、トレーニング室、会議室）、平群健民運動場、梨本テニスコート（平成 24 年 4 月～利用停止）、梨本ゲートボール場、福貴テニスコート、平群中央公園グラウンド・テニスコート・ゲートボール場、平群北公園テニスコート、また公園施設として大規模な中央公園、北公園があり県下でも有数の施設が整備され、長年にわたり地域住民または町外、県外からの多くの利用者に愛され利用されている。今後も引き続きすべての利用者に愛着を持って利用していただける環境づくりとして、美観整備を大切に安全で安心して楽しく利用していただけるよう努める。しかし、すべての施設の老朽化が進んでおり、平群町と一体となった改修計画策定が継続的且つ緊急的な課題と考える。体育/公園体育施設及び公園施設ひいては“へぐり”を地域住民と共同して素晴らしいまちづくりを目指し運営を行う。

１）健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）
スポーツセンターを基本拠点とし、トレーニング室では既存の機器を有効的に使用し、幅広い年齢層の利用者を対象にトレーニング・運動指導のサービス提供を行った。また、スポーツセンターだけに捉われず、地域で活動しているスポーツ団体や町内の学校、長寿会、婦人会、文化協会といった団体にも、コミュニティ強化・関係強固、地域住民の健康づくりや健康向上を目的として運動講師派遣、支援の実施、平群町行政の健康増進事業協力のひとつとして地域住民の健康サポートを行った。高齢化社会を迎えている平群町において、元気でいきいき過ごして「健康長寿県内一」ということが町の大きなテーマとなっており、振興センターとしては健康運動教室を開催し、きめの細かい対応を行った。講師派遣事業は、平群町・自治会・長寿会・平群町社会福祉協議会・小地域ネット・体育協会のクラブ等から依頼を受け、広く町民や地域住民の健康増進を図り、新たなコミュニティ形成の補助や既存のコミュニティに対して関係性の強化を目指し、より地域に密着した活動を行った。

クラブ・地域

（総合型スポーツクラブ「くまがしクラブ」運営・地域団体との共催事業の拡大）

全国・奈良県内で設立されている地域スポーツの拠点となる「総合型スポーツクラブ」（くまがしクラブ）の運営を町行政や体育協会と協働し事業を実施。また、地域の公共的団体・運動クラブと連携しながら共催事業を実施。

事業名	目的・内容
トレーニング室講習会	トレーニングに関する知識と、施設利用に関する説明、マシーンの使い方をレクチャーし、登録証を発行。受講料/300 円、40 分。開催回数 50 回/99 名（62 回/112 名）登録者累計、4,907 名。
ニュースポーツ普及事業	ニュースポーツの体験を、実戦ゲーム形式にて実施。平群北小学校で開催された交流会に協力参加。42 名の参加。
運動講師派遣事業（スポセン健康宅配便）	平群町及び地域住民や団体より健康増進を目的とした運動講座に対して講師を派遣し、運動指導を行った。プリズムへぐり 2 回/46 名、御陵園自治会 1 回/20 名。
ラジオ体操会	平成 25 年度まで実施の形態を変更し、6 月に開催の町子連カーニバルにて参加者全員に「WP 半額入場券」を配布。（600 枚、使用実績 197 枚）
くまがしフェスタ	くまがしクラブを主体に教委、スポーツ推進委員会、体育協会と共に実行委員会を形成し開催。レクリエーションスポーツ体験、フリーマーケット等を中心としたイベントを開催し、くまがしステーションブース出店等で協力。
ふれあいマラソン	平群町教育委員会、スポーツ推進委員会、体育協会と共に実行委員会を形成し開催。町内に 3 つのコースを設けマラソンする。会計担当、後尾車両で協力。

・かんぽの宿へぐりとの共同事業（スポーツ合宿）

町内にあるかんぽの宿と連携し「合宿プラン」を展開。内容は、町外のスポーツクラブ・有志のサークル等の団体に、かんぽの宿と体育施設や公園体育施設を合わせて利用していただくと、体育施設並びに公園体育施設利用料金を町内料金適用と事前施設予約の受付を行う。

グラウンドゴルフ、サッカー、軟式野球等で 9 件の利用。

２）子ども体力向上事業（発育スキルアップ）

平群町総合計画において「緑豊かで心豊かな 子どもの歓声が聞こえるまち」が掲げられている。そんななか、少子高齢化時代において、子どものからだの成長は変化の時代をむかえ、からだは大きく成長するが運動能力の低下は著しい。奈良県小中学生においては、文部科学省の全国運動能力・体力テストにおいて全国最下位に近い状態であり、抜本的な対策と改善が期待されている。このような状況下において、振興センターでは早くから、子どもの基礎体力向上のための体育振興事業の展開を実施し、特に平成 18 年度から未就学園児である 6 歳以下（U-6）を対象にしたキッズの運動講座をスタートさせている。その中には、町内保育園に運動講師派遣による園児たちへの運動指導、健やかで元気な身体づくりや保護者や先生向けの指導講演会の開催なども行った。現在指導を行っている子どもたちに、より健やかに成長してもらえるように、ジ

ュニア期の運動教室を展開しながら平群町の子どもたちの体力向上を目指し実施した。

子どもの成長にあわせた運動プログラム計画（キッズ・ゴールデンエイジ）
キッズエイジ（U-6）には、将来の運動能力を左右する基礎運動能力（からだつくり）を高め、成長期に備えていくこと、特にからだの成長にあわせた運動の種目と内容を選定することが大切であり、「走る」・「跳ぶ」・「投げる」・「蹴る」等の基本動作をこの期間にからだを動かして身に付けさせていく。小学校（ゴールデンエイジ時代）の年齢にあたっては、様々な運動や体験に触れることを重視して技術の習得やより効率的にからだを動かすための技能習得が最も重要である。

成長過程と呼び名
・キッズエイジ　　3 歳～5 歳　今後への準備期間、6 歳～8 歳　神経回路成長
・ゴールデンエイジ　9 歳～12 歳　神経系発達完成、13 歳～14 歳　速筋繊維発達

成長に応じた運動効果
・からだの基本動作習得・バランス・調整力、体力向上・けがの予防・将来的な競技力向上・技能向上。

・キッズエイジ（U-4～6）（キッズスクール）
幼児期のからだづくりの基本的動作となる体操やボールを使用した運動を実施し、からだの効果的な動かし方を身につけさせることを目的とする。
・ゴールデンエイジ（U-12）（ジュニアスクール・水泳）
小学生の時期に、より活動的に様々な動きや、日頃体験できないスポーツを子どもたちに多く体験してもらい能力の幅を広げることを目的とする。

事業名	目的・内容
キッズフェスタ	子ども参加型のイベントで、身体を動かす遊びを取り入れて実施。子どもたちの心身の健やかな発達を促進。
	「へぐりサッカー（U-9）フェスティバル 2014with くまがし」を開催。（一社）奈良県サッカー協会より専門スタッフを招き、遊び要素満載で自然に体力や能力を身に付けることを目的として実施。小学生対象で 87 名の参加。
	「へぐりフットサルフェスティバル 2014with くまがし」を開催。奈良県フットサル連盟の全面協力のもと、町内の家族や団体 4 チームの参加。アリーナでフットサルとレクリエーション遊びを実施。
キッズガーデニング	管理施設である平群中央公園において、地域密着を目指し、町内幼稚園、保育所の子どもたちと職員が一緒に植栽を行う。植栽や軽度の手入れなどの作業を通じて植物に触れ、公園を身近に感じてもらう取り組みとして実施。
	6 月にはなさと、南保育園の園児による植栽を行い、実施状況写真を現場に掲示。植栽物の盗難被害減。
スポセンキッズ教室	幼児を対象としたからだづくり・運動技能習得のための教室として開催。
	日本サッカー協会公認の有資格者のもと、5、6 歳児を対象とした U-6 キッズサッカー教室を開催。コーディネーショントレーニングを積極的に取り入れ実施。1 回 300 円、年間 24 回/381 人（年間 24 回/512 人）
子ども体づくり支援事業	町内の子育て支援センターや子育て団体との共催で実施。子どもたちの健全な心身の発育を目指し遊びを通した様々な動きで運動遊びを行う。
	6 月、11 月にそれぞれはなさと南保育園で実施。はなさと 25 名、南/16 名。
水泳教室	小学生を対象とし、個々のレベルに合わせて水泳指導。 8 月下旬に 4 日間を 1 クール年実施。18 名参加。
カヌー教室、スキー教室	※平成 25 年度よりくまがしクラブ教室へ移行。

３）健康体力づくり事業（健康保持増進）

生活習慣病予防や成人の健康保持増進のため、効果的に楽しみや興味を持って参加できる事業を実施。有酸素運動や筋力運動等の様々なジャンルの運動で参加者の幅を広げた。20 代～50 代といったミドルエイジ（U-60）をメインターゲットとし、日常生活の中で、体を動かすことが減少してきているミドルエイジが特に注意しなければならない生活習慣病予防を健康体力づくり事業の核としてとらえ、予防とさらなる健康保持増進のため、効果的に楽しみや興味を持って参加できる事業、また、その他にも多種目の内容を展開することにより、運動することの楽しみを得られるような事業を実施。また、競技者（アスリート）に対しては、個別にその人にあった効率的且つ専門的な指導で目的達成のサポートを行った。

事業名	目的・内容
ESA&ME（健康体力づくり事業）	※事業見直しに伴い、未実施。
だれでもかんたん運動教室	下半身強化を目的とした内容などを柔軟に展開し、利用者ニーズに対応。中高齢者の健康保持増進を目的とし実施。
	平群町健康保険課の事業「元気にこにこ教室」への講師協力。年間 6 回/150 名参加。
スポセンテニススクール	※事業見直しに伴い、未実施。
はつらつノルディックウォーキング教室	平成 25 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。

４）元気ＵＰ高齢者事業（健康保持増進）

シニアエイジ（O-60）をメインターゲットに「健康長寿　県内一」を目指し、メタボリックシンドローム予防やロコモティブ予防（運動器症候群）に力を入れ、いつまでも自力で元気に日常生活が送れるように、体の機能を維持、向上できるような運動指導、また少しでも状態緩和のため有酸素運動や筋力運動のような体質改善できるよう事業を実施し、日常生活活動レベルを上げ、生活範囲と生活機能の向上を目指し運営を行った。

事業名	目的・内容
ESA&ME（健康体力づくり事業）	※事業見直しに伴い、未実施。
だれでもかんたん運動教室	身体運動強化等利用者ニーズに対応。高齢者の健康保持増進を目的とし実施。
	包括支援センター事業に講師協力。6 月に開催、30 名参加。
スポセンテニススクール	※事業見直しに伴い、未実施。
はつらつノルディックウォーキング教室	平成 25 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。

２　町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業

上記健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業を実施するために、下記の施設の貸し出し業務等や施設管理を行った。

<u>管理施設</u>

①　平群健民運動場（管理棟、グラウンド）
②　平群町総合スポーツセンター（体育館、グラウンド、ウォーターパーク、テニスコート）
③　平群中央公園（管理棟、多目的/サブグラウンド、テニスコート、ゲートボール場）
④　平群北公園（管理棟、テニスコート）
⑤　梨本ゲートボール場（ゲートボール場）

［ 業務内容 ］

1）一般利用及び事業の実施業務（施設の供用に関する利用者支援）

「平群町体育施設条例/施行規則」、「平群町都市公園条例/施行規則」に基づき、指定管理者は行政代執行者であることと公共施設の在り方を念頭に置き、当財団が利潤追求に走り、特定の利用者及び団体に偏って施

設の貸し出しを行うなど、利用者が不便・不利益を被ることのないよう公平、公正な業務を遂行するとともに、安全で快適な施設づくりレベルの向上を図った。また、平群町体育協会の加盟団体や平群町の公共的団体の大会及び県内外のスポーツ団体の大会実施や総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」の教室開催にあたって、柔軟且つ適切な対応、協力や環境整備、備品貸し出し等を行った。

2）利用許可受付と利用料徴収及びバランスのとれた施設利用調整

施設利用に関しては、利用者の利用申請受付業務を窓口で行うとともに利用料の徴収を行う。平成 21 年度からは、奈良県の汎用受付システムの導入により、インターネットを通じての施設受付も可能となり利便性の向上、利用率の向上及び利用料収入の増加に努め、平群町情報処理担当者との意見交換も行い、より利用しやすいシステムの調整を適宜実施する。また、平群町教育委員会、平群町体育協会の加盟団体、一般利用者との間で円滑に施設貸出を進め、より多くの町民の満足が得られるように施設利用全体のバランスを調整した。

3)「おもてなしの心」あふれるサービスと施設 PR

施設利用者、特に子ども・中高齢者・障がい者が安心して利用できるように、積極的に利用者とコミュニケーションをとり、要望・意見・健康状態を知り利用者とのコミュニティを大切に対応。また、潜在的に利用者が持っているニーズを察知し、規則や公平・公正な立場から逸脱することなくニーズにあわせた環境づくりを行った。トレーニング・健康のための運動方法に関する相談も随時、専門知識をもつ職員が丁寧に指導を行い、利用者の運動継続意欲を高め、地域住民の健康増進に役立てた。また、より多くの町民に施設利用してもらうためにインターネットホームページを開設して情報提供を行うとともに、自主事業やイベントの内容については、インターネットツールと高齢化率が 30%超という地域性から、新聞折込によるチラシの配布や町内各公共施設にポスターを掲示するなど、効率的に利用者拡大を図った。

4）安全な施設維持のための保守点検

定期的に施設の巡回、巡視点検を行い、不具合箇所等を早期に発見に努め可能な限り職員で対応。施設美観・清潔維持のため、トイレ清掃やフロア清掃を随時実施して、常に清潔さを保ち、週 1 回の休館日には、アリーナの床面のモップ掛け及びモップの交換、トレーニング室清掃等、館内全体の清掃を実施。外観や植栽管理に関しても計画的に作業を行い、周辺環境の調和を目指し、常に美化意識を持った管理を行った。また、施設の安全利用や予防や保全のため、電気設備や浄化槽・プールの設備に関しては、専門業者による定期点検や法定点検を実施。

平成26年度　体育施設別利用状況

（単位）　　（人）

		メインアリーナ	サブアリーナ	会議室	総合グラウンド	健民グラウンド	中央グラウンド	総合テニスコート	中央テニスコート	北テニスコート	小計	トレーニング室	
4月	利用単位数	97	44	170	25	24	24	280	151	192	1,007	合計	925
	利用率	62.2%	56.4%	18.2%	29.1%	40.0%	27.9%	47.9%	43.9%	55.8%	42.4%	1日平均	35.6%
	昨対比	95.3%	103.1%	72.2%	95.1%	82.8%	118.7%	106.9%	124.4%	113.0%	101.3%		101.7%
25年度	利用単位数	98	41	227	26	29	20	260	120	168	989	25年度	876
	利用率	65.3%	54.7%	25.2%	30.6%	48.3%	23.5%	44.8%	35.3%	49.4%	41.9%		35.0%
5月	利用単位数	103	41	220	33	33	24	300	171	210	1,135	合計	993
	利用率	63.6%	50.6%	22.6%	37.1%	53.2%	27.0%	49.7%	48.0%	59.0%	45.6%	1日平均	36.8%
	昨対比	93.7%	82.0%	158.0%	137.4%	122.3%	114.4%	107.6%	109.6%	105.5%	114.5%		99.2%
25年度	利用単位数	110	50	139	24	27	21	279	156	199	1005	25年度	1003
	利用率	67.9%	61.7%	14.3%	27.0%	43.5%	23.6%	46.2%	43.8%	55.9%	42.7%		37.1%
6月	利用単位数	101	40	258	25	26	22	264	149	202	1,087	合計	977
	利用率	67.3%	53.3%	28.7%	29.4%	41.9%	25.9%	45.5%	43.8%	59.4%	43.9%	1日平均	36.2%
	昨対比	100.9%	86.7%	94.7%	97.4%	86.7%	97.0%	102.9%	125.5%	105.3%	99.7%		103.1%
25年度	利用単位数	104	48	284	26	29	23	258	120	194	1086	25年度	915
	利用率	66.7%	61.5%	30.3%	30.2%	48.3%	26.7%	44.2%	34.9%	56.4%	44.4%		35.1%
7月	利用単位数	109	46	264	25	36	22	322	185	190	1,199	合計	1,058
	利用率	67.3%	56.8%	27.2%	28.1%	58.1%	24.7%	53.3%	44.3%	53.4%	45.9%	1日平均	39.2%
	昨対比	93.0%	96.3%	70.8%	57.5%	92.4%	114.4%	104.1%	97.6%	93.0%	91.0%		95.6%
25年度	利用単位数	113	46	359	43	39	19	307	188	202	1316	25年度	1066
	利用率	72.4%	59.0%	38.4%	48.9%	62.9%	21.6%	51.2%	45.4%	57.4%	50.8%		41.0%
8月	利用単位数	98	41	224	85	25	19	290	150	160	1,092	合計	969
	利用率	60.5%	50.6%	23.0%	95.5%	40.3%	21.3%	48.0%	35.9%	44.9%	46.7%	1日平均	35.9%
	昨対比	88.3%	93.2%	73.2%	114.9%	92.6%	105.4%	100.4%	97.6%	83.3%	94.3%		98.4%
25年度	利用単位数	111	44	305	74	27	18	289	154	192	1214	25年度	986
	利用率	68.5%	54.3%	31.4%	83.1%	43.5%	20.2%	47.8%	36.8%	53.9%	48.8%		36.5%
9月	利用単位数	117	48	260	34	33	27	298	199	207	1,223	合計	1028
	利用率	78.0%	32.0%	28.9%	40.0%	55.0%	31.8%	51.4%	49.8%	60.9%	47.5%	1日平均	41.1%
	昨対比	100.9%	60.0%	97.3%	58.7%	110.0%	103.9%	108.0%	117.2%	104.1%	95.6%		120.5%
25年度	利用単位数	116	40	267	58	30	26	276	170	199	1182	25年度	886
	利用率	77.3%	53.3%	29.7%	68.2%	50.0%	30.6%	47.6%	42.5%	58.5%	50.9%		34.1%
10月	利用単位数	110	47	321	41	27	23	278	141	231	1,219	合計	916
	利用率	67.9%	58.0%	33.0%	46.1%	45.0%	37.1%	46.0%	56.9%	64.9%	50.5%	1日平均	33.9%
	昨対比	93.3%	100.0%	129.9%	114.1%	87.2%	132.0%	109.8%	142.6%	127.0%	115.1%		91.9%
25年度	利用単位数	118	47	247	36	32	25	253	142	182	1082	25年度	961
	利用率	72.8%	58.0%	25.4%	40.4%	51.6%	28.1%	41.9%	39.9%	51.1%	45.5%		36.9%
11月	利用単位数	134	54	383	42	25	26	293	130	235	1,322	合計	782
	利用率	85.9%	69.2%	40.9%	48.8%	41.7%	43.3%	50.2%	54.2%	68.3%	55.8%	1日平均	32.6%
	昨対比	122.9%	108.0%	145.6%	116.5%	100.0%	143.4%	116.2%	141.1%	114.6%	123.1%		90.6%
25年度	利用単位数	109	50	263	36	25	26	252	132	205	1098	25年度	938
	利用率	69.9%	64.1%	28.1%	41.9%	41.7%	30.2%	43.2%	38.4%	59.6%	46.3%		36.0%
12月	利用単位数	101	42	280	19	16	14	228	106	172	978	合計	787
	利用率	76.5%	63.6%	35.4%	25.7%	30.8%	26.9%	45.2%	51.0%	58.1%	45.9%	1日平均	29.1%
	昨対比	117.3%	123.5%	122.9%	63.5%	69.7%	90.6%	101.8%	118.9%	108.8%	101.9%		91.5%
25年度	利用単位数	86	34	228	30	23	22	224	127	158	932	25年度	699
	利用率	65.2%	51.5%	28.8%	40.5%	44.2%	29.7%	44.4%	42.9%	53.4%	44.5%		31.8%
1月	利用単位数	98	39	370	26	16	15	216	108	178	1,066	合計	866
	利用率	71.0%	56.5%	39.5%	34.7%	30.8%	28.8%	42.5%	51.9%	59.3%	46.1%	1日平均	37.7%
	昨対比	98.6%	100.7%	116.9%	102.7%	80.0%	118.5%	103.4%	165.3%	116.3%	111.4%		108.0%
25年度	利用単位数	95	37	268	25	20	18	207	93	151	914	25年度	698
	利用率	72.0%	56.1%	33.8%	33.8%	38.5%	24.3%	41.1%	31.4%	51.0%	42.4%		34.9%
2月	利用単位数	101	38	236	26	20	22	232	108	209	992	合計	987
	利用率	70.1%	52.8%	27.3%	32.5%	35.7%	39.3%	42.6%	48.2%	62.2%	45.6%	1日平均	41.1%
	昨対比	109.7%	97.4%	84.3%	108.3%	95.2%	184.5%	122.1%	154.0%	136.4%	121.3%		106.5%
25年度	利用単位数	92	39	280	24	21	17	190	100	146	909	25年度	927
	利用率	63.9%	54.2%	32.4%	30.0%	37.5%	21.3%	34.9%	31.3%	45.6%	39.0%		38.6%
3月	利用単位数	130	50	305	41	31	22	265	114	219	1,177	合計	985
	利用率	83.3%	64.1%	32.6%	46.6%	50.0%	35.5%	44.2%	46.0%	73.0%	52.8%	1日平均	37.9%
	昨対比	118.2%	104.2%	101.2%	91.2%	100.0%	115.6%	80.7%	114.1%	142.0%	107.5%		100.3%
25年度	利用単位数	110	48	301	45	31	27	329	142	181	1214	25年度	983
	利用率	70.5%	61.5%	32.2%	51.1%	50.0%	30.7%	54.8%	40.3%	51.4%	49.2%		37.8%
合計	利用単位数	1,299	530	3,291	422	312	260	3,266	1,712	2,405	13,497	合計	11,273
	利用率	71.1%	55.3%	29.8%	41.1%	43.5%	30.8%	47.2%	47.8%	59.9%	47.4%	1日平均	36.4%
	昨対比	102.5%	96.2%	102.1%	93.9%	93.3%	119.0%	104.5%	124.0%	111.7%	105.3%		100.5%
25年度	利用単位数	1,262	524	3,168	447	333	262	3,124	1,644	2,177	12,941	25年度	10,938
	利用率	69.4%	57.5%	29.2%	43.8%	46.7%	25.9%	45.2%	38.6%	53.6%	45.5%		36.2%

ウォーターパーク集計表

開場期間　　7月19日（土）～8月31日（日）　※実質39日間
内、休場日　　7月22日（火）、8月4日（月）、8月18日（月）
開場時間　　午前9時30分～午後4時30分

		平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年比	
開場日数		39 日	45 日	47 日	▲ 6 日	86.7%
町内	大人	5,775 人	7,592 人	8,450 人	▲ 1,817 人	76.1%
	小人	6,850 人	8,648 人	9,002 人	▲ 1,798 人	79.2%
	シニア	250 人	269 人	425 人	▲ 19 人	92.9%
	合計	12,875 人	16,509 人	17,877 人	▲ 3,634 人	78.0%
町外	大人	1,565 人	2,605 人	2,085 人	▲ 1,040 人	60.1%
	小人	1,544 人	2,273 人	1,977 人	▲ 729 人	67.9%
	合計	3,109 人	4,878 人	4,062 人	▲ 1,769 人	63.7%
有料団体入場者数		82 人	102 人	92 人	▲ 20 人	80.4%
半額入場券	大人	139 人	398 人	0 人	▲ 259 人	34.9%
	小人	303 人	195 人	0 人	108 人	155.4%
	合計	442 人	593 人	0 人	▲ 151 人	74.6%
有料入場者数		16,508 人	22,082 人	22,031 人	▲ 5,574 人	74.8%
幼児入場者数（無料）		3,507 人	4,960 人	5,450 人	▲ 1,453 人	70.7%
無料入場券使用者数		249 人	458 人	1,534 人	▲ 209 人	54.4%
身障者入場者数（付添い含む）		593 人	744 人	745 人	▲ 151 人	79.7%
総入場者数(水泳教室受講者別)		**20,857 人**	**28,244 人**	**29,760 人**	▲ 7,387 人	73.8%
水泳教室受講者		18 人	46 人	64 人	▲ 28 人	39.1%
一日平均入場者数		534.7 人	627.6 人	633.2 人	▲ 93 人	85.2%
ロッカー使用料		324,400 円	438,350 円	477,500 円	▲ 113,950 円	74.0%
入場料収入（団体含）		**11,349,900 円**	**15,866,100 円**	**15,484,100 円**	▲ 4,516,200 円	71.5%
生駒市入場者数	大人	2,333 人	3,603 人	4,192 人	▲ 1,270 人	64.8%
	小人	2,637 人	3,901 人	4,711 人	▲ 1,264 人	67.6%
	合計	4,970 人	7,504 人	8,903 人	▲ 2,534 人	66.2%

運営報告

平成５年の開場以来、大規模な改修も行われておらず、プール設備の経年劣化による施設の破損がひどく、開場にあたっては修繕箇所が多く見られた。平群町教育委員会へ改修・修繕要望書を提出して開場にあたり準備を進めた。平群西小学校の閉校のため例年のような小学校への貸出しはなかったが、業者によるウォーターパークの修繕工事が７月にずれ込んだため、全体の準備日程に遅れが発生。また、開場後も施設及び設備の故障が多発し、その多くの原因が経年劣化によるものであった。管理棟内シャッターの破損、場内プールサイド塩ビ防滑シートの剥離、擁壁画の劣化及び損傷、ポンプ系統の劣化破損など、開場してから 20 年経過しており今後においても施設及び設備の老朽化が進むことから、修繕費の増加が見込まれ、年度毎にお

ける計画的な大規模改修が必要になることが予想される。来場者の要望の声として、出入口付近に設置してある喫煙所の移動、分煙喫煙所の施設及び設備の改修、日よけである場内常設テントの増設等、見た目にも美しい施設づくりが必要。今年度は、8 月、特に毎週末が雨天で、全国的にみても異常気象の夏であり、局所的豪雨や台風による警報も発令され、8 月 9 日・10 日と 2 日間は臨時休業となった。このような天候不順により来場者が少ない状況となった。開場期間中に大きな事故もなく安全に業務遂行できた。

〔研修計画〕
職員の共通理解と利用者への公平性を保つために定期ミーティングを実施。内容は、各セクションにおける日頃の業務に対しての職員のフィードバック、それに対してのリマインド、正確な情報のシェアリング、また、業務内容の確認や課題、一日のタイムスケジュール等、日々の職員の動きと利用者状況、問題のチェック等を行った。これにより、窓口や現場での接遇向上や運動器具や作業道具の取扱等について職員の資質を高めた。

ミーティング内容
①事務関係（料金徴収・施設予約/受付・利用団体認識）
②運営関係（くまがしクラブとの共同体制内容確認、業務方針・月間計画）
③安全関係（AED 使用講習・人工呼吸・応急手当）
④設備関係（体育器具、消防設備）
運動技能研修内容
①高齢者に対する運動指導方法
②特定健診・保健指導における運動指導
③効果的なトレーニング方法の指導法
④子どもの身体づくりに関する指導法

【職員の主な取得資格】
①施設関係
・体育施設管理士（公益財団法人　日本体育施設協会）2 名
・体育施設運営士（公益財団法人　日本体育施設協会）2 名
体育館やスポーツジムなどの体育施設の維持管理や運営に必要な知識や技能を認定する資格。公共の体育施設を管理及び運営にあたり、近年常勤者の取得（最低でも 1～2 名）が必須となっている資格。
・上級体育施設管理士（公益財団法人　日本体育施設協会）1 名
「体育施設管理士」及び「体育施設運営士」双方の資格を得た資格者で 1 年以上の業務実績がある資格者は日本体育施設協会へ申請し、書類審査の上、認定の可否を決定される。体育施設の多様な知識に精通する資格。
・プール施設管理士（民間資格）3 名
・プール衛生管理士（民間資格）1 名
プール施設を管理運営するうえで、水質管理や機器の管理及び安全管理に関する資格。

②体育振興関係
・スポーツプログラマー（公益財団法人 日本体育協会公認）1 名
地域のスポーツクラブやフィットネスクラブ、スポーツ施設などで、怪我や事故がなくスポーツを楽しめるように、適切な指導やアドバイスを行う専門的資格。

・介護予防運動トレーナー（民間資格）１名
介護予防の基本的知識や実践に必要なノウハウを身に付け、高齢者に対して運動支援を行える資格。
・健康運動指導士（公益財団法人　健康・体力づくり事業財団）１名
スポーツクラブや保健所・保健センター、病院・介護施設などにおいて、人々の健康を維持・改善するために、安全かつ適切な運動プログラムを提案・指導を行う専門的資格。

・スポーツリーダー（公益財団法人　日本体育協会公認）　４名
スポーツ指導やボランティアに関する運動分野における基礎的知識の資格。
・日本サッカー協会公認キッズリーダー（U-8）２名
・日本サッカー協会公認キッズリーダー（U-6）１名
公認キッズリーダーは、幼児期や小学校低中学年代の子どもたちへの指導が可能な資格。
・日本ノルディックウォーキング指導員　２名
2 本の専用のポールを持ちながら歩く、ノルディックウォーキングの基本的な歩行から応用的なトレーニング方法を的確に指導できる指導員資格。
③その他
・防火管理者（甲種）　５名

〔緊急時の対応〕
（１）防犯に対する態勢
夜間を除く日常は必ず各セクションへ職員を配置し定期的な巡回を行って防犯、防災に備えた。また、夜間については警備会社へ警備業務を委託。緊急時（事件、事故）には情報の集約と緊急連絡網により組織内連絡･関係機関への連絡を速やかに行うとともに､利用者の安全確保や応急処置等現場での対応にあたる｡AED（自動対外式除細動器）を設置し、初動である第１次対応は整備済み。
管理者→ 現場担当職員→ 本部事務局→ 常務理事→ 理事長
→ 平群町（教育委員会）
→警察・消防・救急等関係機関（夜間職員不在時は、警備会社→職員に連絡）
併せて、日頃より町内の消防や警察の関係機関と連絡連携を密にとり、緊急時の対応をスムーズに行った。中央公園、北公園は 24 時間開放（駐車スペースは除く）しており、園内は自由に出入りできるため、園内では、なるべく死角をつくらない様な適正な草刈や剪定を行い防犯と景観を兼ねそろえた施設づくりを行った。また、警察や青少年補導委員会の定期巡回の連携を取り、地域一体となって対策を行った。
・災害に対する態勢
台風接近等による大雨・暴風の被害が予想される悪天候時は、気象・災害情報に細心の注意を払い、利用者の安全確保を第一に考え、施設開放や事業の開催可否を協議において決定。
・大規模地震等による自然災害時には、スポーツセンターは平群町の緊急避難場所及び防災拠点に指定されており、平群町の災害対策本部と連携をとり、情報収集すると共に、被災者や災害対策関係者の受け入れに対応し現場での支援・協力を取れる体制を強化。
・緊急時を想定して飲料業者と緊急時に被災者に飲料無料提供の協定を締結し、町内で最初に、災害時対応型（ライフラインベンダー）の飲料自動販売機を導入し、設置済み。

（２）その他の緊急事態に対する態勢
その他緊急事態に備え、通常（夜間を除く）は、職員が常駐し有事の際はそこから速やかに現場へ駆けつけて、即座に有事に対応。

・防災備品を専用物置内に入れ常備・常設（消費期限があるものは適宜交換）

①総合スポーツセンター（設置場所：体育館 1F 館外北側）

ヘルメット 5 個、 軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、 笛 1 個、非常用毛布 6 枚、飲料水 520cc×24 本、非常用食料カンパン 1 缶、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、ガスバーナー1 個、予備燃料木炭 1 ケース、ロープ 1 個、ウエットティッシュ 1 個、トイレットペーパー9 ロール、ガムテープ 1 個、食品ラップ 1 本、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、救急箱（カット綿・ガーゼ・三角巾・包帯・コットン・サージカルテープ・絆創膏・綿棒・オキシドール・鎮痛剤・胃腸薬・風邪薬・熱さまシート・ハサミ・トゲ抜き・生理用品）

②中央公園（設置場所：管理棟外北側）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、非常用毛布　3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 2 枚、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、笛 1 個

③北公園（設置場所：管理棟外西側）

ヘルメット 5 個、軍手 6 双、タオル 10 枚、 懐中電灯 3 個、予備電池単 3 形 8 個、 非常用毛布 3 枚、非常用雨具 5 枚、ブルーシート 1 枚、緊急連絡先一覧 1 枚、地域防災マップ 2 枚、ゴミ袋 90ℓ 10 枚、笛 1 個

[業務連携]

総合スポーツセンター及び中央、北公園の夜間管理及び各施設の施設管理作業（草刈り、清掃等）の一部を「公益社団法人」である平群町シルバー人材センターへ業務委託することで、同センターの業務増加、ひいては平群町在住の高齢者である会員の方々の就労できる場の提供拡充を行い、社会参加に向け積極的に連携を図った。

■経年劣化による現状

【平群町総合スポーツセンター】

・体育館 → アリーナ床面摩耗による滑り

・ウォーターパーク→

　・幼児用プール槽塗装後の剥離多数

　・プールサイド防滑塩ビシート剥がれ

　・着水プール床面、地下水による隆起

　・着水プール濾過配管内漏水による減水

　・場内シャッター故障

　・流水プールの起流ポンプ不動（その他ポンプ要オーバーホール）

　・場内監視モニター故障

　・幼児用プールの遊具スライダー使用不可

　・ゲートシャワー使用不可

　・西側擁壁面の塗装劣化

　・隔離喫煙所の未設置

・テニスコート → 床面摩耗による擦り減り

【平群中央公園】

・テニスコート → 床面摩耗による擦り減り

※夜間照明設備が落雷による故障のため、当面使用不可。（グラウンド、テニスコート）

【平群北公園】
・テニスコート → 床面摩耗による擦り減り

〔減免利用における協力について〕
町のスポーツ振興や、町民の健康増進を目的とされ実施される事業やスポーツ施設利用に対して住民サービスの一環として施設利用減免を許可される際、補てん等を求めず協力を継続実施。
〔利用者サービス・利用促進のための取組み〕
現在、管理運営する体育施設の利用実績において利用率の低い曜日・時間帯の利用率アップを図った。
・「個人参加型プログラム」
個人又は小グループが気軽に利用できるように、定期的に設定した曜日・時間帯のアリーナを分割して貸し出すプログラム。30 件/90 名の利用。
・「利用率アップキャンペーン」
ランダムに設定した曜日・時間帯を利用予約された際に、くまがしステーションで利用できる「クーポン券」を発行する。一般利用/83 件、減免利用/12 件。

Ⅱ 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業２）

地域住民参加型で創意工夫しながら、平群町の活性化や文化振興を目的としながら下記の事業を展開。

1　事業報告

事業名	目的・内容
へぐり盆踊り	地域の文化として根ざした特有の「平群夢音頭」の普及を目指すものであり、管理施設である健民運動場を会場とし開催。平群町を含めた各種関係団体で実行委員会を構成し、当財団は運営事務局担当。内容は、町内の子どもで構成されたチームによるダンスショー、ビンゴゲーム、子ども盆踊り、地元の方やプロの音頭とりによる盆踊りを実施。
	当日、雨天のため未開催。
平群町観月祭	平成 26 年度よりくまがし事業（秋祭り）に変更して実施。平群町文化協会の協力のもと、くまがしステーション館内でお茶席の開催。
へぐりふれあいアート	通年、総合スポーツセンターやくまがしステーションのスペース活用として、絵画、写真等を展示し、来館者に鑑賞してもらい知識や情緒を高めることを目的とし実施。

Ⅲ 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業３）

〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕
くまがしステーションは、平群町に南方面から訪れる際、玄関口にあたるメインスポットである。また、大阪市内から最も近い「道の駅」であり、車で大阪中心部から 30 分、奈良市内からも 20 分で到着できる。また、“平群町”人口 12 万人の“生駒市”と隣接し、町内を縦貫する平群バイパスで結ばれていることからも「人口集積」が見込める非常に恵まれた環境であることから当ステーションには年間約 40 万人もの方が訪れており、この多くの来場者の一人でも多くの方に平群町の農産物、特産物の PR 並びに平群町の農業・観光・歴史・文化を発見していただけるよう行政と協働し地域情報発信を行う。また、公共施設として、施設

貸出を含めた施設の使用に際し、使用者・利用者の公平・公正・平等な利用を提供する。
今後も、引き続き設立当初からこだわり続けている『平群町内農産物直売所（とれたて市)』のコンセプトである「安心・安全・新鮮・おいしい」をより一層 PR し、「へぐりらしさ」「くまがしらしさ」を強調することで個性を出し、利便性の向上も図りながら柔軟に対応できる売り場づくりを行い、差別化を図り安定した運営基盤の構築を目指し運営を行う。また、“くまがしステーション”ひいては“へぐり”を地域住民の皆様と協働し魅力あるまちづくりを目指し、運営を行う。

１　事業報告

1）とれたて市

・「生産者の会」と、とれたて市部分の運営委託契約を結び運営を行った。また、「生産者の会例月役員会議」を開催し、日常運営状況のチェック及び農産物等の品質安定、向上を図った。
・「安心・安全・新鮮・おいしい」をコンセプトに品質の安定・向上を徹底的に探求し続け生産者の会と積極的にコミュニケーションを図り売り場の活性化を図った。
・お客様の混雑緩和としてお盆・お彼岸・年末の繁忙期は、通常営業開始時間より早く営業を開始。
・平成 16 年度から受託する「遊休農地解消モデル事業」を町と協働して進める。町内の遊休農地を再耕作し農産物を栽培からプライベートブランドの商品化を行った。
・平成 21 年度に奈良県と協働する農産物直売所として「奈良県農産物直売所協働協定」を締結。また、協定締結とあわせて、協定直売所のネットワーク「地産認匠 TEAM 奈良」を結成し、ネットワークブランド「地の味 土の香」が立ち上がっている。

1. 東大寺門前市場
2. 月ヶ瀬温泉ふれあい市場
3. JA 都祁農産物直売所「はやおきどり」
4. 朝採り市場大御門
5. くまがし とれたて市
6. 信貴山のどか村 野菜果物直売所
7. ダイキ天理店 産直市
8. 湖畔の里つきがせ
9. ダイキ南生駒店 産直市
10. 農産物直売所 旬の駅ならやま
11. さくらい とれとれ市場
12. 荒神の里 笠そば処
13. JA 御所 大正農産物直売所
14. JA 葛上農産物直売所
15. 郷土食「當麻の家」
16. JA 味間にこにこ 農産物直売所
17. あすか夢販売所
18. 明日香の夢市
19. 畜産ならショップ
20. 片塩楽市～足湯のある農産物直売所～
21. わたしのたからもの

22. 明日香村農林産物等販売所
23. あすか夢の楽市
24. 阿騎野新鮮 野菜直売所
25. 産直センター花香房
26. 曽爾高原ファームガーデン直売所
27. こもれび市場
28. 菟田野アグリマート
29. 大和高原 わくわく宇陀いち
30. 街道市場みつえ
31. JA 牧野農産物直売所
32. JA 大淀農産物直売所
33. 黒滝蒟蒻よもぎの里
34. 奈良五條　自然と柿の里ファーム

（安全性の強化：トレーサビリティの強化）
平成 26 年度に生産者に出荷農産物の栽培履歴提出の協力を積極的に求めた結果、提出率の大幅アップに成功。10%⇒90%。
（品質安定及び向上）
・とれたて市内に専門員を配置し、利用者にレシピと共に簡単な調理方法説明、出荷時期等の質問に対して迅速・丁寧な応対、また生産者には出荷当日における追加納品の声掛けや品質に対する指導等を行った。
・出荷された農産物・花卉の品質チェックを開店前・営業時間中、徹底的に行い、品質の悪いものについては即時に売り場から排除したうえで出荷生産者に厳重注意・指導し、再発の抑制を行い、改善されない生産者に対しては「出荷停止」又は「除名」を生産者の会で決定し、処分を行い、品質の保持に努めた。
・生産者の会主導で生産者向けの「品質向上講習会」を適宜開催し生産者自らの生産農産物・花卉の品質安定を図った。
（出荷量安定、品目の充実）
・システム導入により出荷農産物の種類、量を管理し、当日出荷されている生産者に売上額、売上数量をリアルタイムでメールを配信。また、とれたて市全体の月毎売上データ（品目別、数量等）を生産者に提供。
（コストパフォーマンスの安定化）
お客様に納得して購入していただけるリーズナブルな価格設定で販売。
（接客・接遇の強化）
アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数 UP を図った。
（販売演出）
・生産者の会との共催イベントを積極的に開催し、お客様と生産者のふれあいイベントの企画や生産者の顔写真の掲示などを行い、顔が見える安心・安全な売り場づくりを行った。
・“旬”の野菜を使ったこだわり料理の試食コーナーを週末に設置。
・“旬”のコーナーの設置を中心に町内地域別、種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく、農産物を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行った。
・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行った。

事業一覧

事業名	内容	実施時期
収穫体験	平群町と連携を図り、遊休農地解消モデル事業のもと作付けされた農産物の収穫体験を実施。秋季は、さつまいも掘り体験を 9 月 23・27・28 日の 3 日間実施し、450 名が参加。冬季は 12 月 13・14 日の 2 日間実施し、参加 65 名。	年 2 回
生産者栽培地作業体験ツアー	生産者の農産物栽培地をめぐり地元農産物に触れて体験し、実際に知っていただくことで農業の振興と発展を図るとともに、農業の町・平群ののどかな田園風景も楽しんでもらう。7 月 16 日に実施。参加 2 名。	年 1 回
くまがし講座	地域の食材・農産物を使用し「料理教室」、「パン教室」、「お菓子教室」、「アロマ教室」をくまがしクラブ（総合型地域スポーツクラブ）と協働で展開し、地域性を身近に感じてもらい日常的に来場してもらうことを目的とし実施。今年度は延べ参加 612 名。	平成27年度よりくまがしクラブ事業へ移行。
道の駅タイアップイベント事業	へぐり時代祭りが雨天で中止。(道の駅いながわとのタイアップは中止となった。) 5 月 11 日に高知県須崎市の道の駅を招き、かつおのたたき実演販売と鍋焼きラーメンの販売を実施。8 月 24 日には須崎市へ出向き、旬のぶどうなどをはじめとした出張販売を実施し、交流を図った。	年 1 回
いちご狩り	平群町特産のいちごの PR として、とれたて市登録生産者のビニールハウスにて開催。2 月 1 日～5 月 15 日の 3 ヶ月半で参加、約 1,500 名。	2 月～5 月
ゴールデンウィークイベント	期間中、来場者に手づくり味噌などの PB 商品の PR 販売を実施。	5 月
ぶどうフェア	6 月 28・29 日に実施し、平群特産のぶどうの試食販売と先着 200 名（小学生以下）にデラウェアのプレゼント、加工品では、ぶどうパフェを販売。	6 月下旬
メロンフェア	※近年栽培量減のため未実施。	
海の日＆親子の日フェア	来場者へ PB 商品の PR 販売等を実施。取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施。	7 月
すいかまつり	※近年栽培量減のため未実施。	7、8 月
くまがし創業祭	日ごろの感謝の意を込め、お客様への還元を目的に、お楽しみ抽選会や、ソフトクリーム半額サービス、お盆期間には果物類の大安売り、レジでの先着プレゼント等を実施。また、夏休み中のお子様が参加できるスイカ割りなどのお客様参加型のイベ	8 月

	ントを実施。	
彼岸フェア	花の需要期であるこの時期に、より多くのお客様を迎えることを目的にPB商品のPR販売等を実施。取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施。	9月
へぐり秋の収穫祭	地域の農業振興及び地産地消PR、地域住民の親睦交流を目的に、平群中央公民館をメイン会場に、品評会、絵画展、模擬店、家庭菜園相談コーナー、各種教室の内容で開催され、当財団はメイン会場での模擬店ブース出店、サブ会場のくまがしステーションでお客様へしし汁と新米の振る舞いを実施。	11月
クリスマスイベント	12月23日クリスマス抽選会を実施。	12月
新春季節特産品フェア	遊休農地事業とも連動し、遊休農地で収穫した大根を使用した、しし汁のふるまいを実施。1月4･5日の2日間実施。	1月
バレンタインフェア	バレンタイン関連商品の販売を実施。取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施。	2月
春彼岸&イチゴフェア	花の需要期であるこの時期に、より多くのお客様を迎えることを目的にPB商品のPR販売等を実施。尚、いちごの生産量が安定していなかった為、イチゴフェアは未実施。	3月
プライベートブランド商品創作	地産地消を目的として、地元で収穫された食材を利用したプライベートブランドの商品を創作している。手づくりみそ、梅干し、しょうが漬け、長屋くん左近くんまんじゅう、焼酎（里の恵）ケーキ、いちごジャム、乾燥野菜などの創作及び販売を実施。	通年
週末ふるまい	生産者の会と協働し、季節のとれたて市の農産物のPRを兼ね、ふるまいを実施。	適宜

2）特産品コーナー

利潤だけにとらわれすぎずに地域団体の活性化や地域商業団体、小売店の発展に協力・連携する売り場づくりを行った。

（地域団体、町内業者との共存）

・地域団体、町内業者の活性及び育成を図るため、売店商品の仕入れやPR特設コーナーの設置などを積極的に行った。福祉作業所の「特定非営利活動法人 大空の家」を中心とした福祉作業所のPR及び商品販売コーナーを設置済。「信貴山」コーナー等もさらなる充実を図った。

（プライベート商品）

・平群町で採れる農産物を使用した平群町開発商品並びにくまがしプライベート商品と奈良県でブランド力のある特産品を中心とした厳選商品のラインアップと特設コーナーの設置を行いPR販売及び生産量の安定を図った。

・日本酒「平群」大吟醸、純米酒【平群産ヒノヒカリを使用】

・里の恵（芋焼酎）【遊休農地解消モデル事業で栽培したサツマイモを使用】

・幸福の梅酒（梅酒）【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】

・漬物（たくあん）【遊休農地解消モデル事業で栽培した大根を使用】
・てづくりみそ 【上庄加工部会に製造を依頼しブランド化に成功】
・おかずみそ 【同様】
・こうじ浅漬けの素 【同様】
・梅干し 【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用し上庄加工部会が製造】
・しょうが漬け 【同様】
・長屋くん左近くんまんじゅう 【平群町イメージキャラクター「左近くん、長屋くん」の PR として、「第一回へぐり時代祭り」の開催に合わせて商品化】
・焼酎（里の恵）ケーキ 【里の恵（芋焼酎）を材料に使用】
・古都華ジャム 【くまがしステーションで大人気のいちご「古都華」を使用】
・梅ジャム 【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】
・トマトジャム 【平群町内の休眠耕作地で採れたトマトを使用】
・ゆずジンジャー 【平群町内産のゆずを使用】
・梅ジンジャー 【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】
・乾燥野菜・果物（ドライベジタブル）【平群町（奈良県産）の農産物をふんだんに使用】
・みそ汁の具（にんじん、しいたけ、たまねぎ、※ごぼう、なすび、白菜、菜花、小松菜を季節で替える）

（接客・接遇の強化）
アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数 UP を目指した。

（販売演出）
・お客様に愛着を持ってもらうために、地域団体や町内業者との共催イベントを開催し、お客様と生産者のふれあいイベントを企画し実施。
・“旬”のコーナー設置を中心に種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく商品を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行った。
・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行った。

3）レストラン・できたて工房

（品質安定及び向上）
材料には旬の平群産（奈良県産）の野菜をふんだんに使用し、手づくりで温もりのある老若男女が楽しめるメニューづくり（ランチ）を行った。

（地域活動団体への協力）
地域団体の活動拠点としての活性化を図るため、各団体で開催されている「総会」、「会合」、「研修」を当施設の研修室等での開催利用の促進を図り、利便性の向上を図った。

（接客・接遇の強化）
アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数 UP を目指し運営を行った。

〔イベント等への協力〕
・平成 13 年より実行委員会形式で運営する「へぐり秋の収穫祭」に実行委員として参加。メイン会場である中央公民館での模擬店の参加とサブ会場のくまがしステーションで、しし汁、新米の振る舞いの協力を行った。
・平成 22 年より実行委員会形式で運営する「へぐり時代まつり」に事務局として参加。前日からの駐車場封鎖や模擬店出店、当日の現場管理、警備員費用等の一部負担等の協力を行った。
・町内団体等が実施する平群町平和委員会署名/募金活動、赤い羽根募金活動に伴う活動場所の提供の協力を行った。
〔観光振興業務〕
平群町観光産業課（千光寺、信貴山朝護孫子寺、観光協会）と連携をとり、計画的に迅速に最新の地域の観光収集及び情報提供の業務を行った。
「ボランティアガイド」
平群町の歴史・観光をガイドされている「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動拠点に沢山の観光客が訪れるくまがしステーションを提供し協力。ガイドの方々と共に観光客への「平群町」の PR を積極的に行った。また、従業員にはボランティアガイドの方々から日々学び、研修も交えながら今以上に地域の観光・歴史の情報を説明できるよう能力及び資質の向上を図った。

２　町有施設（活性化センター）指定管理及び道の駅施設受託管理事業
・町有施設（活性化センター）指定管理事業
農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町より指定管理を受けたくまがしステーションの研修室及び料理実習室の利用貸し出し業務、維持管理業務等を行った。
・道の駅施設受託管理事業
農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町より受託を受けた「道の駅大和路へぐり」の管理業務を行った。

〔施設の利用許可、料金に関する業務〕
「平群町活性化センターの設置及び管理に関する条例/施行規則」に基づき、使用者・利用者の公平・公正・平等な利用を確保し、丁寧かつ迅速な対応で業務を行った。
〔施設の管理に関する業務〕
・管理責任者及び防火管理者を配置し、火災等の事故防止に努めた。消防設備点検を毎年実施し、消防訓練実施計画書と共に消防署に報告を行うと同時に訓練を実施し、平群町地域防災計画において「避難所」に指定されていることからも緊急時の対応を整備。
・施設から発生する廃棄物やゴミの減量化及び分別を行い再資源化を図った。
〔施設及び設備の維持管理に関する業務〕
館内外の清掃は毎日、定時及び適宜実施し、除草や植栽などの手入れについては季節、状況を考慮し定期的に実施。機械設備については、業者による保守点検と従業員が日々チェックを行った。
〔研修室、調理室〕
・地域住民、団体の一人でも多くの方々に当ステーションで活動してもらえるように、ホームページ等を利

用し利用促進 PR を行い、総会、研修活動、その他の会合拠点としての利用率の向上を図った。
・自主事業のくまがし教室を開催。
〔付帯施設の管理〕
・道の駅（トイレ部分）
お客様に気持ち良く利用できるよう毎日、営業時間前・営業時間中に従業員で清掃を実施。ドライバーの休憩スポットとしての役割を果たすため、建物沿いに飲料水の自動販売機を設置。
・第 1・2・3 駐車場
お客様に気持ち良く来場していただけるように毎日、営業時間前・営業時間中に従業員でゴミ拾いとその他不備がないようにチェックを行った。特に週末の午前中や年末年始などの繁盛期には警備員を配置し、来場者の平群バイパスからの入退場及び駐車場内の誘導で安全確保に努め、当該施設利用目的外の駐車や夜間の不審車両の駐停車排除を県土木事務所、警察、平群町と連携をとり適宜対応。
〔情報発信コーナー〕
「へぐり」の魅力を一人でも多くの方に知っていただくため、平群町観光産業課と密な連携をとり、くまがしステーション 1F 西側に設置の「情報発信コーナー」を最大限活用し、最新の地域情報や交通情報などをドライバーを含めた来場者に提供。

くまがしステーション利用者数部門別内訳表（直近3年）

月	年度	利用者数（人）					計
		売店	レストラン	できたて工房	研修室	料理実習室	
4	平成26年度	20,580	3,237	3,397	351	74	27,639
	平成25年度	19,822	2,540	2,970	261	0	25,593
	平成24年度	28,141	3,054	3,723	337	30	35,285
5	平成26年度	21,630	3,492	3,916	448	85	29,571
	平成25年度	20,575	2,780	3,526	259	49	27,189
	平成24年度	26,462	2,822	3,855	371	39	33,549
6	平成26年度	18,817	3,134	2,904	438	75	25,368
	平成25年度	17,809	2,365	2,767	316	15	23,272
	平成24年度	22,185	2,429	2,781	275	44	27,714
7	平成26年度	18,215	3,353	2,705	531	102	24,906
	平成25年度	18,038	2,393	2,706	426	28	23,591
	平成24年度	22,027	2,687	2,921	340	40	28,015
8	平成26年度	23,326	4,090	3,690	298	35	31,439
	平成25年度	22,997	3,840	3,676	485	58	31,056
	平成24年度	27,402	3,945	3,545	315	0	35,207
9	平成26年度	22,893	3,882	3,600	428	25	30,828
	平成25年度	21,593	3,975	3,102	364	36	29,070
	平成24年度	24,750	3,208	3,117	258	43	31,376
10	平成26年度	23,267	3,489	2,725	651	30	30,162
	平成25年度	18,964	3,001	2,858	315	10	25,148
	平成24年度	21,112	2,432	3,117	502	48	27,211
11	平成26年度	19,175	3,868	2,760	425	70	26,298
	平成25年度	18,142	2,772	2,883	387	0	24,184
	平成24年度	17,414	2,494	2,471	478	20	22,877
12	平成26年度	19,112	3,240	2,045	304	38	24,739
	平成25年度	20,146	2,869	2,713	462	45	26,235
	平成24年度	19,435	2,204	2,489	346	77	24,551
1	平成26年度	14,551	3,357	1,653	288	63	19,912
	平成25年度	14,007	2,528	2,181	406	80	19,202
	平成24年度	14,391	2,133	2,199	305	0	19,028
2	平成26年度	14,000	3,651	2,172	383	73	20,279
	平成25年度	14,838	2,257	2,157	456	30	19,738
	平成24年度	15,596	2,002	2,294	211	66	20,169
3	平成26年度	22,259	4,506	2,918	396	60	30,139
	平成25年度	20,907	3,086	3,201	628	88	27,910
	平成24年度	21,550	2,758	3,292	449	0	28,049
合計	平成26年度	237,825	43,299	34,485	4,941	730	321,280
	平成25年度	227,838	34,406	34,740	4,765	439	302,188
	平成24年度	260,465	32,168	35,804	4,187	407	333,031
昨年対比		104.4%	125.8%	99.3%	103.7%	166.3%	106.3%

くまがしステーション売上一覧（昨年対比）

（千円）

	産地形成促進部門			食材供給部門					
	とれたて市	売店	小計	レストラン	工房	小計	研修室	料理実習室	合計
平成26年度	269,339	109,361	378,700	32,386	14,568	46,954	726	154	426,534
平成25年度	225,447	105,254	330,701	27,381	15,038	42,419	776	108	374,004
昨年対比	119.5%	103.9%	114.5%	118.3%	96.9%	110.7%	93.6%	142.6%	114.0%

Ⅳ スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業１）

事業報告

1）ウォーターパーク売店事業

ウォーターパーク開場期間（毎年７月中旬から８月まで）におけるプールサイドの売店にて水中遊具や飲食物等の販売。

2）くまがしステーション売店事業

くまがしステーションの館内において、農業発展などの物品以外の一般的なお土産品や町内外の手づくりの品、嗜好品の販売。

その他

・自販機設置販売

総合スポーツセンター、中央公園、北公園、健民グラウンド、くまがしステーションで飲料等自動販売機設置販売。

・くまがしステーションで切手類の販売、コミュニティバスの回数券を販売。

ウォーターパーク売店売上（昨年対比）

（円）

	平成26年度	平成25年度	昨年対比（%）
飲食物	5,541,900	6,741,150	82.2%
水泳遊具販売	269,700	380,850	70.8%
合計	5,811,600	7,122,000	81.6%

くまがしステーション売店売上対前年比較表

（単位：円）

月	年度	売店商品等	町外委託	町内委託	仕入野菜	計	昨年対比
4月	平成26年度	3,763,730	2,777,693	1,268,177	140,754	7,950,354	103.6%
	平成25年度	4,141,615	2,493,223	436,836	603,865	7,675,539	
5月	平成26年度	4,225,161	2,752,350	1,302,778	233,218	8,513,507	98.7%
	平成25年度	4,144,478	2,704,437	1,108,334	665,118	8,622,367	
6月	平成26年度	3,255,833	2,185,686	1,054,372	110,919	6,606,810	96.0%
	平成25年度	3,320,031	2,280,798	818,307	460,615	6,879,751	
7月	平成26年度	3,337,831	1,797,375	834,060	74,820	6,044,086	101.3%
	平成25年度	2,922,663	1,847,292	703,844	492,690	5,966,489	
8月	平成26年度	4,994,352	2,514,510	868,650	254,270	8,631,782	99.6%
	平成25年度	4,149,358	2,441,452	756,423	1,318,698	8,665,931	
9月	平成26年度	4,379,759	2,728,241	1,110,461	9,715	8,228,176	100.6%
	平成25年度	3,588,762	2,690,963	749,382	1,147,995	8,177,102	
10月	平成26年度	3,543,062	2,177,196	1,149,754	333,045	7,203,057	84.5%
	平成25年度	3,500,267	2,295,924	787,888	1,944,833	8,528,912	
11月	平成26年度	4,677,430	2,394,050	1,403,723	162,483	8,637,686	109.0%
	平成25年度	3,767,688	2,319,723	957,324	877,230	7,921,965	
12月	平成26年度	4,858,066	2,168,364	1,262,321	303,850	8,592,601	97.8%
	平成25年度	4,260,586	2,145,243	1,093,322	1,284,428	8,783,579	
1月	平成26年度	3,152,215	1,860,613	989,922	305,638	6,308,388	98.2%
	平成25年度	3,028,830	1,815,313	664,764	918,190	6,427,097	
2月	平成26年度	3,593,603	2,244,021	1,067,416	612,191	7,517,231	116.4%
	平成25年度	2,771,927	1,896,105	686,666	1,101,209	6,455,907	
3月	平成26年度	4,287,466	2,854,241	1,422,726	698,040	9,262,473	107.7%
	平成25年度	3,991,111	2,817,056	1,208,306	587,073	8,603,546	
合計	平成26年度	48,068,508	28,454,340	13,734,360	3,238,943	93,496,151	100.8%
	平成25年度	43,587,316	27,747,529	9,971,396	11,401,944	92,708,185	

※平成26年4月より消費税率の変更があった為、税抜き額で表示

事業一覧

事業名	内容	実施時期
さくらまつり	文化協会と連携し、琴の演奏、茶席を実施。	4月
母の日プレゼント	母の日に合わせて、事前にお母様の似顔絵を描いてもらい、店内掲示コーナーに展示。	5月
父の日イベント	父の日に合わせて、事前にお父様の似顔絵を描いてもらい、店内の掲示コーナーに展示。	6月

秋まつり（観月祭）	平群町文化協会との連携によるお茶席を実施。	9 月
敬老の日イベント	敬老の日に合わせて、事前にお子様におじいちゃん、おばあちゃんの似顔絵を描いてもらい店内に掲示。当日 65 歳以上の先着 100 名にお団子のプレゼント。	9 月
ハロウィンイベント	館内を装飾し、おもちゃかぼちゃ等の販売。	10 月
節分の日イベント	つきたて餅のふるまい、節分豆の配布。	2 月
フリーマーケットの開催	2 階研修室・1 階フロア等に於いて、フリーマーケットの開催。	適宜
文化協会との連携による琴の演奏と、茶道愛好会との連携によるお茶席を実施する。	くまがしステーション 1 階ホールにおいて町内及び町外の団体による作品展及び発表会の開催。（木目込人形作品展・ウクレレ発表会等）	通年

・その他

〔情報の公開を行うための措置〕

町政と密接な連携を図り事業活動を推進していることから、地域振興センターが保有する文書の公開に関し必要な事項を「情報公開規程」に定めることにより、町民に対し地域振興センターの透明性を高め、地域振興センターの活動に対する町民の理解と信頼を深め、より一層開かれた運営の実現を図り、町民の文書の開示を求める権利を十分に尊重するものとする。

①公益財団法人平群町地域振興センター情報公開規程に規定する不開示情報が含まれている部分を除き、情報提供で対応できるものについては情報提供を行った。

②地域振興センターに関する情報を利用者へ提供できる手段として、地域振興センターのホームページに掲載。これ以外にも平群町の広報紙、報道機関への情報提供、直接対話等、これらの手段を適切に活用し、適宜実施。

〔個人情報を保護するための措置〕

地域振興センターが保有する個人情報の取扱いに関する基本的な事項を「個人情報保護規程」に定めることにより、個人の権利利益を保護する。個人の権利利益の保護を図るため、個人情報の保護及び個人情報の慎重な取扱いに必要な施策を講じ、これを実施する責務を有する。職員は、職務上知り得た個人情報を漏らさない。(その職を退いた後も同様)。個人情報の収集、利用及び提供するときは、あらかじめ、個人情報取扱事務の目録を作成し、当該個人情報取扱事務の名称、当該個人情報の内容等を明らかにし、適正かつ公正な手段により、その事務の目的を達成するために必要最小限の範囲内で行った。

・業務実施にあたり取得した個人情報の保護又はその取扱いについては、公益財団法人平群町地域振興センター個人情報保護規程に基づき、厳正な情報管理・保護を行った。

・個人情報の記載された書類については、鍵付きロッカーに保管するとともに鍵の管理については、経年等で不要になった場合は、シュレッダー等を使用して復元できない形にするなど適正に処分。

・職員に個人情報等の研修を行い、個人情報が漏洩しないように務めた。

〔経費節減のための方策〕

1）人件費

運営基盤の安定のため、サービスを縮小させないよう配慮したうえでムダを省き、適切な定員管理を行った。

・正規職員給与カット（管理職 8%～6.4%、一般職 2%）

・各現場のアルバイト員の人件費率の改善

2）備品、消耗品費

費目ごとに在庫及び支出管理を行い、計画的な購入を行った。

3）外注費

外注費の価格算定根拠を明確にし発注先を選定、また複数年契約等を駆使し経費削減を図った。

4）光熱水料費

LP ガス供給会社の競争入札実施及び季節毎の適切な室温の設定、貸室など使用していない部屋は、電灯及び空調の電源を確実に切る等の「ムダ」の徹底排除を行った。